

※印を付した用語については、下記の「※印の用語のご説明」をご覧ください。（各欄の初出時のみ※印を付しています。）

保険金の種類		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
傷害保険金	傷害死亡保険金 ★傷害補償（MS & AD型）特約	保険期間中の事故によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合	<div>傷害死亡・後遺障害保険金額の全額</div> <p>（注1）傷害死亡保険金受取人（定めなかった場合は被保険者の法定相続人）にお支払いします。</p> <p>（注2）既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ※</li> <li>●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ</li> <li>●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中のケガ</li> <li>●脳疾患、病気※または心神喪失によるケガ</li> <li>●妊娠、出産、早産または流産によるケガ</li> <li>●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療※以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ</li> <li>●戦争、その他の変乱※、暴動によるケガ（テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。）</li> <li>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ</li> <li>●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ</li> <li>●原因がいかなるときでも、頸（けい）部症候群※、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足る医学的他覚所見のないもの※</li> <li>●入浴中の溺水※（ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。）</li> <li>●原因がいかなるときでも、誤嚥（えん）※によって発生した肺炎</li> <li>●別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ</li> <li>●別記の「補償対象外となる職業」に従事中のケガ</li> <li>●乗用具※を用いて競技等※をしている間のケガ</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>（注）細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。</p>
傷害保険金	傷害後遺障害保険金 ★傷害補償（MS & AD型）特約	保険期間中の事故によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害※が発生した場合	<div> <math display="block">\text{傷害死亡・後遺障害保険金額} \times \text{約款所定の保険金支払割合（4\%～10\%）}</math> </div>	（傷害死亡保険金と同じ）

保険金の種類		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合				
			<p>(注1) 政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、傷害後遺障害保険金をお支払いします。</p> <p>(注2) 被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療※を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師※の診断に基づき後遺障害※の程度を認定して、傷害後遺障害保険金をお支払いします。</p> <p>(注3) 同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。</p> <p>(注4) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。</p>					
日常生活賠償保険金 ★日常生活賠償特約		<p>① 保険期間中の次のア. またはイ. の偶然な事故により、他人の生命または身体を害したり、他人の物を壊したりして、法律上の損害賠償責任を負われた場合</p> <p>② 日本国内において保険期間中の次のア. またはイ. の偶然な事故により、誤って線路へ立入ってしまったこと等が原因で電車等（＊1）を運行不能（＊2）にさせ、法律上の損害賠償責任を負われた</p>	<table><tr><td>被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額</td></tr><tr><td>＋判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金</td></tr><tr><td>－被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額</td></tr><tr><td>－免責金額※（0円）</td></tr></table> <p>(注1) 1回の事故につき、日常生活</p>	被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額	＋判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金	－被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額	－免責金額※（0円）	<ul style="list-style-type: none"><li>●保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害</li><li>●被保険者の業務遂行に直接起因する損害賠償責任（仕事上の損害賠償責任）</li><li>●他人から借りたり預かったりした物を壊したことによる損害賠償責任</li><li>●被保険者と同居する親族※に対する損害賠償責任</li><li>●被保険者の使用人（家事使用人を除きます。）が業務従事中に被った身体の障害に起因する損害賠償責任</li><li>●第三者との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任</li></ul>
被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額								
＋判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金								
－被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額								
－免責金額※（0円）								

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	<p>場合</p> <p>ア．本人の居住の用に供される住宅（※３）の所有、使用または管理に起因する偶然な事故</p> <p>イ．被保険者の日常生活に起因する偶然な事故</p> <p>（※１）電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用車をいいます。</p> <p>（※２）正常な運行ができなくなることをいいます。ただし、運行することにつき、物理的な危険を伴うものをいいます。</p> <p>（※３）敷地内の動産および不動産を含みます。</p> <p>（注）被保険者の範囲は、本人、配偶者※、同居の親族および別居の未婚※の子となります。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の６親等内の血族、配偶者および３親等内の姻族に限ります。）を被保険者とします。「同居の親族」とは、本人またはその配偶者と同居の、本人またはその配偶者の６親等内の血族および３親等内の姻族をいいます。「別居の未婚の子」とは、本人またはその配偶者と別居の、本人またはその配偶者の未婚の子をいいます。</p>	<p>賠償保険金額が限度となります。</p> <p>（注２）損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。</p> <p>（注３）上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。</p> <p>（注４）日本国内において発生した事故については、被保険者のお申出により、示談交渉をお引受します。ただし、損害賠償請求権者が同意されない場合、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が日常生活賠償保険金額を明らかに超える場合、正当な理由なく被保険者が協力を拒んだ場合、損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合には示談交渉を行うことができませんのでご注意ください。</p> <p>（注５）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>●心神喪失に起因する損害賠償責任</p> <p>●被保険者または被保険者の指図による暴行、殴打による損害賠償責任</p> <p>●自動車等※の車両（ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。）、船舶、航空機、銃器、業務のために使用する動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任</p> <p>●戦争、その他の変乱※、暴動による損害</p> <p>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害</p> <p>●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害</p> <p>など</p>
借家人賠償責任保険金	保険期間中に、日本国内において、借用住宅（※１）が火災、破裂また	被保険者が損害賠償請求権者に対し	●保険契約者、被保険者またはこれらの者の法定代理人の故意による損害

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
★借家人賠償責任補償特約	<p>は爆発により損壊（※２）し、被保険者（※３）が貸主に対する法律上の損害賠償責任を負われた場合</p> <p>（※１）「借用住宅」とは、被保険者が借用または使用する被保険者の居住の用に供される建物または住戸室をいいます。</p> <p>（※２）「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。ただし、滅失には盗難、紛失または詐欺を含みません。</p> <p>（※３）借用住宅の賃借名義人が被保険者と異なる場合には、その賃借名義人を含みます。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の６親等内の血族、配偶者※および３親等内の姻族に限りします。）を被保険者としします。</p>	$\begin{array}{ l} \text{て負担する法律上の損害賠償責任の} \\ \text{額} + \text{判決により支払を命ぜられた訴} \\ \text{訟費用または判決日までの遅延損害} \\ \text{金} - \text{被保険者が損害賠償請求権者に} \\ \text{対して損害賠償金を支払ったことに} \\ \text{より代位取得するものがある場合は、} \\ \text{その価額} - \text{免責金額※（０円）} \end{array}$ <p>（注１）１回の事故につき、借家人賠償責任保険金額が限度となります。</p> <p>（注２）損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。</p> <p>（注３）上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。</p> <p>（注４）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心神喪失または指図に起因する損害賠償責任</li> <li>●借用住宅の改築、増築、取りこわし等の工事による損害</li> <li>●貸主に借用住宅を引き渡した後に発見された損壊による損害賠償責任</li> <li>●戦争、その他の変乱※、暴動による損害</li> <li>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害</li> <li>●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害</li> <li>●貸主との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任</li> <li>●借用住宅の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害</li> <li>●借用住宅の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または借用住宅の汚損であって、借用住宅が有する機能の喪失または低下を伴わない損害</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
修理費用保険金 ★修理費用補償特約	<p>保険期間中の次の事故により、日本国内において借用住宅（※１）に損害が発生し、被保険者（※２）が貸主との契約に基づきその借用住宅を自己の費用で現実に修理した場合。ただし、火災、破裂または爆発の事故による損害に対し、被保険者が借用住宅の貸主に対して、法律上の損害賠償責任を負担する場合を除きます。</p>	$\begin{array}{ l} \text{修理費用※} - \text{免責金額※（１回の事故} \\ \text{につき３，０００円）} \end{array}$ <p>（注１）保険金のお支払額は、１回の事故につき、修理費用保険金額が限度となります。</p> <p>（注２）建物の主要構造部（壁、柱、床、はり、屋根、階段等）や、居住者が共同で利用する部分（玄関、ロ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者、借用住宅の貸主、保険金を受け取るべき方またはこれらの方の法定代理人の故意、重大な過失または法令違反による損害</li> <li>●保険契約者、被保険者または借用住宅の貸主が所有または運転する車両・積載物の衝突、接触による損害</li> <li>●戦争、その他の変乱※、暴動による損害（テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。）</li> <li>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害</li> </ul>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、落雷、破裂、爆発</li> <li>・借用住宅の外部からの物体の衝突（雨、雪、あられ、砂塵（じん）、粉塵（じん）、煤（ばい）煙その他これらに類する物の落下もしくは飛来、水災、土砂崩れによる損害を除きます。）</li> <li>・給排水設備に発生した事故または被保険者以外の者が占有する借用住宅で発生した事故に伴う漏水、放水または溢（いっ）水による水濡れ（水災による損害を除きます。）</li> <li>・騒擾（じょう）およびこれに類似の集団行動または労働争議に伴う暴力行為もしくは破壊行為</li> <li>・風災、雹（ひょう）災または雪災（※３）（借用住宅の内部については、借用住宅またはその一部が風災、雹（ひょう）災または雪災によって直接破損したために発生した損害（吹込みによる損害を含みます。）に限ります。）</li> <li>・盗難</li> </ul> <p>（※１）「借用住宅」とは、被保険者が借用または使用する被保険者の居住の用に供される建物または住戸室をいいます。</p> <p>（※２）借用住宅の賃借名義人が被保険者と異なる場合には、その賃借名義人を含みます。</p> <p>（※３）豪雪の場合におけるその雪の重み、落下等による事故または雪崩（なだれ）をいい、融雪水の漏入もしくは凍結、融雪</p>	<p>ビー、廊下、昇降機、便所、浴室、門、塀、垣、給水塔等）の修理費用はお支払いしません。</p> <p>（注３）雪災による損害が１回の積雪期において複数発生した場合、おのおの別の事故によって発生したことが明らかでないときは、１回の事故により発生したものと推定します。</p> <p>（注４）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他に ある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害</li> <li>●借用住宅の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害</li> <li>●借用住宅の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または借用住宅の汚損であって、借用住宅が有する機能の喪失または低下を伴わない損害</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	洪水または除雪洪水による事故を除きます。		
（住宅内生活用動産保険金）損害保険金 ★住宅内生活用動産補償特約 ☆新価保険特約（住宅内生活用動産補償特約用）セット	保険期間中の日本国内における偶然な事故（盗難・損壊（※１）・火災など）により、被保険者の居住の用に供される住宅（※２）内に所在する、被保険者または被保険者と生計を共にする親族※が所有する生活用動産（※３）に損害が発生した場合（※１）「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。（※２）敷地を含みます。（※３）「生活用動産」とは、生活の用に供する家具、什（じゅう）器、衣服、その他生活に通常必要な動産をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」を除きます。	<div> <div>損害の額</div> <div>－</div> <div>免責金額※（１回の事故につき３，０００円）</div> </div> <p>           （注１）損害の額は、再調達価額※によって定めます。ただし、被害物が貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董（とう）、彫刻物等の場合には、保険価額によって定めます。なお、被害物の損傷を修繕しうる場合においては、損害発生直前の状態に復するのに必要な修繕費をもって損害の額を定め、価値の下落（格落損）は含みません。この場合においても、修繕費が再調達価額を超えるときは、再調達価額を損害の額とします。            （注２）損害の額は、貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董（とう）、彫刻物等については、１個、１組または１対について３０万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等（鉄道・船舶・航空機の乗車船券・航空券、宿泊券、観光券または旅行券をいいます。ただし、定期券は含まれません。）もしくは小切手については１回の事故につき５万円が限度となります。            （注３）保険金のお支払額は、保険期間を通じ、住宅内生活用動産保険金額が限度となります。            （注４）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他に ある場合、補償の重複が生じること         </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害</li> <li>●被保険者と生計を共にする親族※の故意による損害</li> <li>●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による損害</li> <li>●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中の事故による損害</li> <li>●公権力の行使（差し押え・没収・破壊等）による損害</li> <li>●生活用動産の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害</li> <li>●生活用動産の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または保険の対象の汚損であって、生活用動産が有する機能の喪失または低下を伴わない損害</li> <li>●偶然な外来の事故に直接起因しない生活用動産の電氣的事故・機械的事故(故障等)による損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。</li> <li>●生活用動産である液体の流出による損害。ただし、その結果として他の生活用動産に発生した損害を除きます。</li> <li>●生活用動産の置き忘れまたは紛失による損害</li> <li>●生活用動産に加工（修理を除きます。）を施した場合、加工着手後に発生した損害</li> <li>●生活用動産に対する修理、調整の作業（点検または試運転を伴う場合には、これらを含みます。）上の過失または技術の拙劣によって発生した損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。</li> <li>●詐欺または横領によって生活用動産に発生した損害</li> <li>●楽器の弦（ピアノ線を含みます。）の切断・打楽器の打皮の破損・楽器の音色または音質の変化による損害</li> <li>●戦争、その他の変乱※、暴動による損害（テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。）</li> <li>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損</li> </ul>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
		があります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」の損害 など

# 【特約のご説明】

セットする特約	特約の説明
条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約（自動セット）	保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱※、暴動」については、テロ行為はお支払いの対象となります。テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。
住宅内生活用動産臨時費用保険金対象外特約	住宅内生活用動産臨時費用保険金をお支払いしません。
住宅内生活用動産残存物取片づけ費用保険金対象外特約	住宅内生活用動産残存物取片づけ費用保険金をお支払いしません。
住宅内生活用動産失火見舞費用保険金対象外特約	住宅内生活用動産失火見舞費用保険金をお支払いしません。

補償対象外となる運動等
<p>山岳登はん（※１）、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、航空機（※２）操縦（※３）、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機（※４）搭乗、ジャイロプレーン搭乗</p> <p style="text-align: right;">その他これらに類する危険な運動</p> <p>（※１）ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング（フリークライミングを含み、登る壁の高さが5 m以下であるボルダリングは含みません。）をいいます。</p> <p>（※２）グライダーおよび飛行船は含みません。</p> <p>（※３）職務として操縦する場合は含みません。</p> <p>（※４）モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機は含みません。</p>
補償対象外となる職業
<p>オートテスター（テストライダー）、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手（競輪選手）、モーターボート（水上オートバイを含みます。）競争選手、猛獣取扱者（動物園の飼育係を含みます。）、プロボクサー、プロレスラー、ローラーゲーム選手（レフリーを含みます。）、力士</p> <p style="text-align: right;">その他これらと同程度またはそれ以上の危険な職業</p>
補償対象外となる主な「生活用動産」
<p>船舶（ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。）・航空機・自動車・原動機付自転車・雪上オートバイ・ゴーカートおよびこれらの付属品、自転車・ハンググライダー・パラグライダー・サーフボード・ウインドサーフィン・ラジコン模型およびこれらの付属品、携帯電話・PHS・ポケットベル等の携帯式通信機器・ノート型パソコン・その他の携帯式パソコン・ワープロ・タブレット端末・ウェアラブル端末等の携帯式電子事務機器およびこれらの付属品、義</p>

歯、義肢、コンタクトレンズ、眼鏡、動物、植物、株券、有価証券（乗車券等、定期券、通貨および小切手は補償の対象となります。）、印紙、切手、預金証書または貯金証書（通帳およびキャッシュカードを含みます。）、クレジットカード、ローンカード、プリペイドカード、電子マネー、稿本（本などの原稿）・設計書・図案・証書（運転免許証およびパスポートを含みます。）・帳簿・ひな形・鋳型・木型・紙型・模型・勲章・き章・免許状その他これらに類する物（印章は補償の対象となります。）、テープ、カード、ディスク、ドラム等のコンピュータ用の記録媒体に記録されているプログラム、データ	など
---	----

【※印の用語のご説明】

用語のご説明
●「医学的他覚所見のないもの」とは、被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。
●「医師」とは、被保険者以外の医師をいいます。
●「競技等」とは、競技、競争、興行（＊）または試運転を言います。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。（＊）いずれもそのための練習を含みます。
●「頸（けい）部症候群」とは、いわゆる「むちうち症」をいいます。
●「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。 「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。 「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。 「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。 「傷害」には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に発生する中毒症状（＊）を含み、次のいずれかに該当するものを含みません。 ①細菌性食中毒 ②ウイルス性食中毒 （＊）継続的に吸入、吸収または摂取した結果発生する中毒症状を除きます。
●「後遺障害」とは、治療※の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足る医学的他覚所見のないもの※を除きます。
●「誤嚥（えん）」とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることをいいます。
●「再調達価額」とは、損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要な金額をいいます。なお、再取得に必要な額は、被害物を購入したときの金額より低い金額となる場合があります。
●「自動車等」とは、自動車または原動機付自転車をいいます。
●「修理費用」とは、借用住宅を損害発生直前の状態に復旧するために必要な修理費用をいいます。
●「酒気帯び運転」とは、道路交通法第65条（酒気帯び運転等の禁止）第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等※を運転することをいいます。
●「乗用具」とは、自動車等※、モーターボート（水上オートバイを含みます。）、ゴーカート、スノーモービル、その他これらに類するものをいいます。
●「親族」とは、6親等内の血族、配偶者※および3親等内の姻族をいいます。
●「その他の変乱」とは、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変をいいます。
●「治療」とは、医師※が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。



用語のご説明
●「溺水」とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。
●「配偶者」とは、婚姻の相手方をいい、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情（内縁関係）にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異ならない程度の実質を備える状態にある方を含みます。
●「病気」とは、被保険者が被ったケガ※以外の身体の障害をいいます。なお、被保険者が病気によって被ったケガについては、病気として取り扱います。
●「未婚」とは、これまでに婚姻歴がないことをいいます。
●「免責金額」とは、支払保険金の計算にあたって損害または費用の額から差し引く金額で、自己負担となる金額をいいます。